社会資本総合整備計画(防災・安全)

防災・減災に資する強靭化のための道づくり(防災・減災)

(富士吉田市,都留市,山梨市,大月市,韮崎市,北杜市,上野原市,昭和町)

令和6年1月

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金 令和06年01月23日

江云貝	4 総 口 罡 惟	前 例 例次	(女主文的								マ和00 + 01万	123L
計画の名称	35 防災・減災	とに資する強靭化のため	めの道づくり (防災・安全	È)								
計画の期間	令和02年度	夏~ 令和06年度	度 (5年間)							重点配分対象の該当	0	
交付対象	富士吉田市,都	留市,山梨市,大月市,並	苣崎市,北杜市,上野原市,	昭和町								
計画の目標	市町村道におり	1て、斜面法面の防災・	減災対策や橋梁耐震補強	鎖等を行うことで、	災害時に強い道路施設の構築	を目標とする。						
全体事業費	費(百万円)	合計 (A + B + C +	D)	5,238 A	5,238 B	0 C	0 D	0	効果促進事業費の割合 C /	(A + B + C + D)	0	%

	計画の成果目標(定量的指標)						
		定量的指標の現況値及び目標値					
番号	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値			
		R2末	R4末	R6末			
1	防災・減災対策が必要な本整備計画に位置付けられた橋梁に対し、対策を実施した割合を100%にする。			•			
	計画的な橋梁の耐荷・耐震補強・修繕等を進め、その実施率を指標とする。	0%	50%	100%			
	(橋梁の防災・減災対策実施率)=(対策実施橋梁数)/(本整備計画に位置付けた橋梁数)						
2	防災・減災対策が必要な本整備計画に位置付けられた道路法面等に対し、対策を実施した割合を100%にする。						
	計画的なのり面修繕・補強等を進め、その実施率を指標とする。	0%	50%	100%			
	(道路のり面等の防災・減災対策実施率)=(対策実施個所数)/(本整備計画に位置付けた個所数)						
3	防災・減災対策(冠水対策)が必要な本整備計画に位置付けられた要対策箇所に対し、対策を実施した割合を100%にする。						
	計画的な道路改良等(冠水対策)を進め、その実施率を指標とする。	0%	50%	100%			
	(冠水対策実施率) = (対策実施個所数) / (本整備計画に位置付けた個所数)						
4	防災・減災対策が必要な本整備計画に位置付けられた道路に対し、対策を実施した割合を100%にする。						
	計画的な道路改良を進め、その実施率を指標とする。	0%	50%	100%			
	(道路改良実施率)=(対策実施延長)/(本整備計画に位置付けた延長)						
		I	T	Γ			
		<u> </u>	1	T T			
	備考等 個別施設計画を含む ○ 国土強靱化を含む ○ 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含む - 流域水循環計画を含む - 元域水循環計画を含む - 元域ル - 元域	地域再生計画を含む -	避難確保計画の策定 -	避難行動要支援者名簿の提供			

A 基幹事業											,						
-	\overline{T}	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	事業実施			全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業(大)	番号	種別	種別		間接		【里力」	【単力」∠	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R02 R03	3 R04 F	₹05 R06	(百万円)	便益比	策定状況
			一体的に実施することにより期待される効果														
		備考															!
道路事業	A01-001	道路	一般	富士吉田	」 直接	富士吉田市	市町村	改築	赤坂支線道路改良事業	道路改良(冠水対策) L=0.4	富士吉田市				102		策定済
				市			道			8km						l	
		35-A02-1	1														
	A01-002	2 道路	一般	都留市	直接	都留市	市町村	改築	栄町長者町線支線3号事業	道路改良 L=0.90km	都留市	T	\top		300		策定済
							道										
																1	
		35-A03-1	1														
	A01-003	 3 道路	一般	山梨市	直接	山梨市	市町村	改築	正徳寺下神内川線 神徳	耐震補強・補修・耐荷・歩道	山梨市	\top	\top		400		策定済
							道		橋	拡幅							
									11-9	New Lies							
		35-A04-1	35-A04-1														
	A01-004		一般	山梨市	直接	山梨市	市町村	7000		耐震補強・補修・耐荷・歩道	山地市	\top	\top	\Box	390	T	策定済
	Λοι σσ.	면띠	Xei	山木中	百次	山木市	道	以木	橋(第2期)	拡幅	山木山						X.E.M
									简(が以中田							
		35-A04-2	F 104.2														
	104 000			T	一士拉	T	T	74.65	一一一一一		T				250	Т	
	A01-005	直路	一般	大月市	直接	大月市	市町村	改梁	殿上下和田線 宮下橋	耐震補強・補修・拡幅	大月市				350		策定済
				<u></u>			道						$\perp \perp \perp$			<u> </u>	
		<u> </u>															
		35-A05-1													Т	т	
	A01-006	道路	一般	韮崎市	直接	韮崎市	市町村	改築	穴山5号線道路整備事業	現道拡幅 L=0.82km	韮崎市				530		策定済
							道										
		35-A06-1	1														
					T												
											1					1	
																-	

1 案件番号: 0000542743

A 基幹事業		事業	地域	交付	直接				要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	車業宝		全体事業費	費用	/mni*****	
基幹事業(大)	番号	● 乗 種別	種別	対象	間接	- 生女子	種別 1	種別 2	(事業箇所)	●乗内台 (延長・面積等)			RO4 RO5 RO6		更用 便益比	個別施設計画 策定状況	
季针≠未(八)	田与								(尹未貞四)	(延茂・岡慎寺)	心局 地区石	NOZ NOS	K04 K05 K06	(日/111)	医血儿	水足水ル	
		一体的に実施することにより期待される効果 備考															
	A01-007		一般	北杜市	直接	北杜市	市町村	修縒	若神子・下黒澤線のり面	のり面修繕・補強 L=0.54km	北杜市			950		策定済	
足山于未	A01-007		אניו	101T112	H1X	1017113	道		修繕・補強事業	のうら間には 開送 ころ・の子代目	3017.13			330		X Z JA	
							世		16/2017 16/								
		25. 400. 4															
			35-A08-1 道路 一般 北杜市 直接 北杜市 市町村 修繕 若神子・若神子新町1号線 のり面修繕・補強 L=0.5km 北杜市 1316 第定済														
	A01-008	道路	一般	北杜市	直接	北杜市	市町村	修繕	若神子・若神子新町1号線	のり面修繕・補強 L=0.5km	北杜市			316		策定済	
							道		のり面修繕・補強事業								
		35-A08-2															
	A01-009	道路	一般	上野原市	直接	上野原市	市町村	改築	谷後安達野線道路改良事	道路改良 L=100m	上野原市			100		策定済	
							道		業(第1工区)								
					1		-1				1						
		35-A11-1															
	A01-010	道路	一般	昭和町	直接	昭和町	市町村	新設	昭和玉穂中央通り線道路	バイパス L=1.0km	昭和町			1,300		策定済	
							道		整備事業								
					1	I	ı		1	I.	L					1	
		35-A19-1															
	A01-011	道路	一般	昭和町	直接	昭和町	市町村	改築	町道124号線道路改良事業	バイパス L=0.2km	昭和町			500		策定済	
							道										
					1	1											
		35-A19-2	<u> </u>														
											小計			5,238			
											合計			5,238			
						1					<u> </u> → # ·			1 0,200			

2 案件番号: 0000542743

(単位:百万円)

	R02	R03	R04	(+4.1711)
配分額 (a)	18	96	190	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	18	96	190	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	
支払済額 (e)	0	78	106	
翌年度繰越額 (f)	18	18	84	
うち未契約繰越額(g)	18	0	16	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100	0	8.42	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場	第3次補正予算であること			
合その理由	に加え、関係機関との協議			
	に不測の日数を要したため			
	o			

(参考様式3)参考図面

